

令和5年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市御室老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

- ・介護保険法に基づく通所介護事業の実施
- ・京都市総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）の実施

2 事業実施内容

- 【老人デイサービス事業】
- ・通所介護・介護予防通所介護事業実施とこれに伴うサービス提供（食事・入浴・機能訓練・レクリエーション・送迎・相談業務などの提供）
 - ・日曜日と年末年始（12/31～1/3）を除く毎日開所
 - ・通所介護計画に基づく個々の利用者の生活支援を目指したサービス提供
 - ・個別機能訓練計画に基づいて、専門職（柔道整復師）との日常的な連携のもとに行う個別機能訓練
 - ・利用者の興味・関心に即して、選択できるレクリエーションを提供し、グループ活動の実践による心身機能の向上、生活の充実のための支援を行うとともに、集団でのレクリエーションを提供することによる、協調性の助長や仲間意識の醸成
 - ・個々の利用者に対する相談援助と関係機関との協議
 - ・サービス向上に向けた取組としてユーザーアンケートの実施と第三者評価事業の定期受診
 - ・職員に対する内外研修の積極的な取組

（2）指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。例：配食サービス）

3 サービス提供状況

- 【職員体制】
- ・管理者 1名
 - ・生活相談員 2名
 - ・介護職員 12名
 - ・看護職員 6名
 - ・機能訓練指導員 4名
 - ・運転手 4名
 - ・調理員 5名
 - ・介護アシスタント 1名

再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）

4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会においては、本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としています。一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積り合わせ行っています。

5 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 延べ利用者数（実績値）

①令和5年度実績値

6,671

 人

②令和6年度目標値

7,000

 人

(2) 実利用者数（実績値）

①令和5年度実績値

944

 人

②令和6年度目標値

1,000

 人

(3) 収支実績

ア 本来業務（老人デイサービスセンター）

介護保険収入	68,910,446
利用料収入	4,619,183
委託料収入	
補助金収入	
寄付金収入	
雑収入	
その他	35,949,820
収入計	109,479,449

令和5年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	73,281,245
事業費	14,016,946
委託費	
小額修繕費	
その他	22,178,181
支出計	109,476,372

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

令和5年度2月に全利用者を対象とした、法人統一のアンケートを実施。当センターより必要に応じ説明の上配布し、無記名で法人事務局宛の返送による回収を行い、回収率は57.0%でした。

(2) 利用者満足度把握の結果

【利用時間】	満足：84.4%	やや満足：13.3%	やや不満：0.0%	不満：0.0%	無記入：2.2%
【送迎】	満足：93.3%	やや満足：4.4%	やや不満：2.2%	不満：0.0%	無記入：0.0%
【入浴】	満足：75.6%	やや満足：8.9%	やや不満：6.7%	不満：0.0%	無記入：8.9%
【食事】	満足：75.6%	やや満足：20.0%	やや不満：0.0%	不満：0.0%	無記入：4.4%
【レクレーション】	満足：55.6%	やや満足：24.4%	やや不満：2.2%	不満：2.2%	無記入：15.6%
【機能訓練】	満足：62.2%	やや満足：15.6%	やや不満：6.7%	不満：0.0%	無記入：15.6%

その他。職員の身だしなみや態度、言葉使い、施設の使い勝手や環境などを質問。全体的な満足度として、満足：80.0% やや満足：11.1% やや不満：2.2% 不満：0.0%と90%以上の方に高い評価いただいた。相対的に満足されている旨の回答が増えているが、レクレーションに関しては、コロナ感染症に関して、ご利用者・ご家族が持たれている「コロナ禍以前のように開放してもよいのではないか」という感覚に対し、慎重を期している職員の感覚の差異が、満足度を前年度より若干下げた結果になっているのではないかと推測している。

(3) 意見等への主な対応状況

アンケート結果は、サービス向上委員会にて職員間で共有し、出されたご意見に対し、いかに応えていけるのかを検討しました。また施設内に掲示し、見やすい状況を提供しています。引き続き、ご利用者・ご家族とのやり取りを通して、さらにご要望に応じていけるよう対応していきたい。

7 その他特記事項

(1)

介護等体験や看護学校生徒の実習などを受け入れ、社会的使命として福祉と教育の接点の場としての努めを果たせるよう努力してきました。また、地元の保育園との交流についても、プレゼント交換を互いの代表園児・ご利用者が訪問して手渡すなど、新型コロナウイルス感染症を考慮した対応をとりながら、その関係性を損ねることなく継続することができました。

(2)

8 評価（指定管理者自己評価）

- ・事故再発防止委員会とサービス向上委員会を毎月開催しています。日々のミーティングで振り返っている事故等を再検証し、ケース検討を行うことで、職員の質向上を図り、サービスの充実を目指しています。
- ・職員の定着率が高く、ベテラン職員も多く在席しています。また介護福祉士を有する職員も多いことから、専門性の高い、安定したサービス提供に努めています。初心を忘れず、前述のサービス検討委員会などで振り返りを行い、常に自己研鑽に努めています。
- ・季節を感じていただくことを目的とした外出レクや、デイの中にながら喫茶店の雰囲気味わっていただく「御室喫茶」など、いかにして楽しんでいただけるのか、いかに社会を感じていただけるのかを視点においたレクレーションを目指しています。またご利用者に選んでいただけるレクレーションも大変好評で、「選べる鑑賞外出」「選べる粉もん」など主体性を持っていただけるレクレーションにも取り組んでいます。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を徹底し、感染症の研修も定期的実施して職員の感染症に対する意識を高め、ご利用者の安全が確保できるように細心の注意を払っています。また、人材育成、質の向上の取組、障がいを理由とする差別の解消に向けた職員研修にも取り組んでいきます。